

News Release

2018年12月10日
近江トラベル株式会社



2019年1月1日(火・祝)～6日(日)

2019年新春「竹生島初詣船」の運航について



運航期間中は、乗船券が彦根市キャラクター「ひこにゃん」イラスト入り!!
ご乗船のみなさまに招き猫グッズプレゼント!!

オーミマリン(運営:近江トラベル株式会社、代表取締役:植田 重弘)では、2019年1月1日(火・祝)から6日(日)までの6日間限定で、琵琶湖に浮かぶ竹生島への「初詣船」を運航します。

初詣船運航期間中は、乗船券が彦根市キャラクター「ひこにゃん」イラスト入りとなり、ご乗船のみなさまには、井伊家が起源と言われている招き猫グッズをプレゼントします。

さらに、船内には福を呼ぶと言われる招き猫がお出迎えします。

ご家族・ご友人揃って2019年の新春のひと時を「竹生島初詣船」でお楽しみください。

詳細は、別紙のとおりです。



竹生島

オミマリン
竹生島初詣船
2019年1月1日(火・祝) ▶ 6日(日)

彦根港⇄竹生島往復運賃	彦根港⇄竹生島往復乗船券
おとな 3,000円	当日限り 見本
子ども 1,500円	年 月 日

発行 オミマリン 彦根港支店 TEL.0749-22-0619
近江トラベル株式会社 滋賀県彦根市松岡町13755
http://www.ohmitudo.co.jp/marine/

ひこにゃんイラスト入り乗船券〈見本〉

報道関係各位 お問い合わせ先

近江トラベル(株) オーミマリン彦根港(山本) TEL.0749-22-0619 FAX.0749-24-7999

近江鉄道(株) 管理部 総務課・広報担当(北原・松岡) TEL.0749-22-3327 FAX.0749-23-8418

本資料は、次の記者クラブにお届けしています。

滋賀県政記者クラブ/彦根新聞記者会/近畿電鉄記者クラブ/青灯クラブ

【別紙】

2019 年新春「竹生島初詣船」について

1. 運航期間 2019年1月1日（火・祝）～1月6日（日）
2. 運航時間 1便/彦根港 9：30 発～竹生島 10：10 着／11：20 発～彦根港 12：00 着
2便/彦根港 12：30 発～竹生島 13：10 着／14：20 発～彦根港 15：00 着
※悪天候の際、欠航になる事もございます。
※1月7日（月）以降は2月末まで土・日・祝日のみ運航となります。
※2018年12月3日（月）から2019年2月28日（木）までは、冬期ダイヤで運航
しています。時刻など詳しくはホームページでご確認の上、ご乗船ください。
URL. <http://www.ohmitetudo.co.jp/marine/daiya2018/index.html/>
3. 乗船料 彦根港⇄竹生島往復
おとな 3,000円（招き猫グッズ、ひこにゃんイラスト入り乗船券付）
こども 1,500円（招き猫グッズ、ひこにゃんイラスト入り乗船券付）
※竹生島では別途おとな400円、こども300円の拝観料が必要です。
4. アクセス <お車の場合>
名神高速道路 彦根ICから4km（約10分）
※無料駐車場あり
<電車・バスの場合>
JR・近江鉄道「彦根駅」西口下車
※彦根駅西口～彦根港 無料シャトル便運行（所要時間8分）
彦根駅西口（⑥番のりば）発 9：00／12：00
彦根港発 12：10／15：10

【ご予約・お問合せ先】

近江トラベル株式会社 オーミマリン彦根港

TEL. 0749-22-0619（予約受付時間 9：00～17：00）

URL. <http://www.ohmitetudo.co.jp/marine/index.html/>

以 上

【参考】

竹生島 (ちくぶしま)



沖合約 6km に浮かぶ周囲 2km あまりの小島で、宝巖寺と都久夫須麻神社が祀られています。宝巖寺の本尊は弁才天と千手観音。弁才天は安芸の宮島、相模の江島とともに日本三弁天に数えられています。また、中世以来西国三十三所観音霊場の三十番札所として多くの参詣客で賑わっています。

宝巖寺の唐門は秀吉の大坂城の唯一の遺構と伝わり、都久夫須麻神社の本殿とともに国宝に指定されています。近年は琵琶湖第一のパワースポットとして注目を集めています。「深緑竹生島の沈影」として琵琶湖八景の一つ。

招き猫のルーツとは？ 彦根藩 2代藩主・井伊直孝を招いた猫のお話



発祥には諸説ありますが、猫は 1000 年ほど昔、唐の国からやってきました。同時に「猫面ヲ洗ッテ耳ヲ過レバ、即チ客至ルト」と記した古典を伝えています。千客万来、商売繁盛を願う縁起物となった招き猫の生まれた理由がこのあたりにあるようです。

日本では、彦根藩 2代藩主・井伊直孝公が鷹狩りの帰り、白い猫に招かれて東京世田谷の豪徳寺に立ち寄ったところ、雷雨にあうのを免れたというお話があります。直孝は雷であやうく命を失うところを救ってくれたことにたいそう喜び、以来豪徳寺は井伊家の菩提所として大いに栄えることとなります。猫に招かれ、吉運を授かった、それが直孝公だったのです。